



世田谷区立砧中学校 校長室だより
 令和4年 8月 1日
 第 24 号
 校長 大坂 崇

教育目標 「豊かな人間性の育成」

- ◎ 集団生活における責任感と自主性を養う
- ◎ 健康な心身の育成と勤労の喜びを培う
- ◎ 基礎学力の充実を図り深く考える姿勢を育てる

社会性の学び	知的な学び	心と体の学び
自他の尊重 地域貢献	主体的な学び 学習の定着	心身の健康

指導の技術①

「話す技術」 1

授業の中での「話す」技術

朗 読

発 話

言葉の選択

間

指示・説明

範読 → 教科書等を読む

- ゆっくり
- はっきり
- ていねいに
- 強弱と抑揚

発話 → 話を聴かせる

- 語尾・文末を伸ばさない
- つなぎ言葉を使わない
(え〜と、まあ、あの〜、う〜んと 等)
- 話す速さを変える (でも、早口はダメ)

言葉の選択 → 単語・表現

- 肯定表現で
「この問題はやらないで」 ×
「この問題は飛ばして」 ◎
- 2重否定はダメ
- 簡易な言葉で
「簡易な言語表現で」 ×
「やさしい言葉で」 ◎

間 → 話にメリハリ

〔話さないことの大切さ〕

- 集中・沈黙のための「間」
- 話題を変えるための「間」
- 思考のための「間」
余計な話は生徒の思考の邪魔
- 観察のための「間」

《 余談 》 「語尾伸ばし」と「つなぎ言葉」

- 意識しないと、1分間に5・6回 (多い先生は10回以上)
- 語尾伸ばしやつなぎ言葉1回を1.5秒とすると、1時間の授業(50分)の授業では375秒
- 週4時間(年間140時間)の教科なら
 $年間140回 \times 375秒 = 52500秒 = 約875分 = 50分授業 15.5回分$
 $= 約3週間分の授業$
- 授業中に年間35週の授業のうち、3週間も「え〜と」と言っているとすれば、
 「授業が聞きとりにくい」だけでなく、
 生徒の学習の「定着率」や「学力」に、大きく影響がありそうです